

西吾妻山・磐梯山

【日程】 2026年2月21日～2月23日

【エリア】 磐梯吾妻・猪苗代地域

【形態】 冬山登山

【メンバー】 T.K、M.M、T.I、S.M、M.N、K.O.

【報告】 T.I、M.N、K.O

《ルート／タイム》※報告書とはコースタイムが若干異なります

2月21日

07:10 郡山駅～諸準備～1000 グランデコ裏磐梯スキー場～10:55 ロープウェイトップ～

12:45 西大巔 13:05～13:50 西吾妻山 14:15～15:55 ロープウェイトップ～16:45 駐車場

2月22日

09:30 裏磐梯スキー場駐車場～10:30 ロープウェイトップ～11:15 イエローフォール分岐～

12:14 P1457～道中昼休憩～13:05 弘法清水小屋～13:30 磐梯山 14:00～14:10 弘法清水小屋～

15:10 イエローフォール分岐～15:40 イエローフォール～16:40 駐車場

2月23日

08:00 あだたら高原スキー場駐車場～天候不順につき途中で各自撤退～駐車場

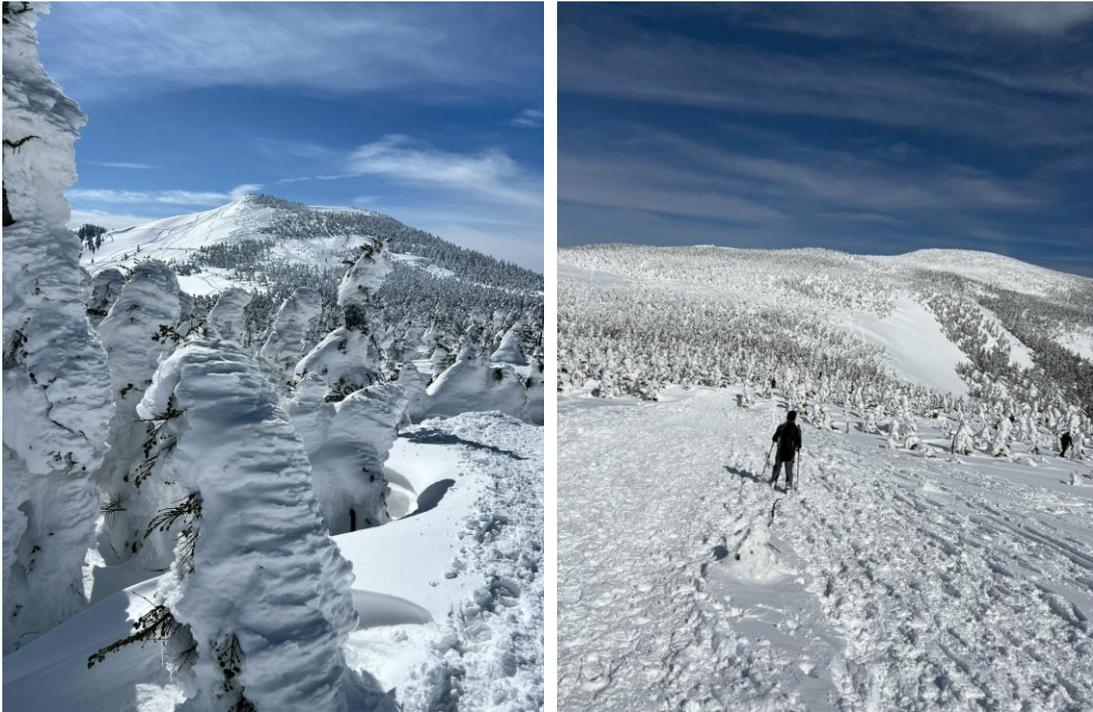
2月21日 西吾妻山 《報告》 T.I



3日間で西吾妻山、磐梯山、安達太良山に登る予定です。雪山初心者なので、この山行に参加する為に年末から雪の稲村が岳、高見山、明神平、わさび谷、武奈ヶ岳の山行に参加して、ピッケル、アイゼン、スノーシューの使い方、雪山の歩き方を教えていただきました。

第1日目は西吾妻山です。なだらかな山容と積雪期はスノーモンスターが特徴の日本100名山です。前日夜に関西発の夜行バスに乘車して、福島県郡山駅に7:30に到着、ホテルのチェックイン、着替えを済ませてレンタカーにてスキー場駐車場へ向かい、ロープウェイに乗り、登山開始地点へ。ロープウェイはスキー用ではなくて、観光用のチケットを購入しました、6人乗り屋根付きでした。

三連休初日、快晴という事もあり、ロープウェイ乗り場は混雑していましたが、今まではスキーを履いて手荷物はほぼ無い状態で並んでいたのに、今回は冬山装備でお荷物沢山、体力的に大丈夫かしら？と、不安と期待でどきどきしているうちにあっという間にゲレンデへ着きました。スノーシューを履いて登山開始は11時頃になっていました。スキー場、樹林帯を抜けて西大嶺迄高度を上げてゆきました、振り返ると、猪苗代湖や明日登る磐梯山を望むことができるとても美しかったです。帰りのロープウェイの最終が15:00なので、西大嶺で軽く昼食を済ませて先を急ぎました。



(左) 稜線上のスノーモンスターの合間から西大巔をのぞむ
(右) 西大巔から西吾妻山へ下り

陽気のせいで少し溶けかけたスノーモンスターのあいだを通り抜けて山頂に着きました。山頂では沢山のかわいいスノーモンスターが出迎えてくれました。こちらはしっかり雪をかぶっていて真っ白でした。青い空と白い雪のコントラスト、白銀の世界が美しく、360度の眺望が望めて素晴らしかったです、地球の自然の美しさに感動しました。来られて良かったと疲れも吹き飛びました。

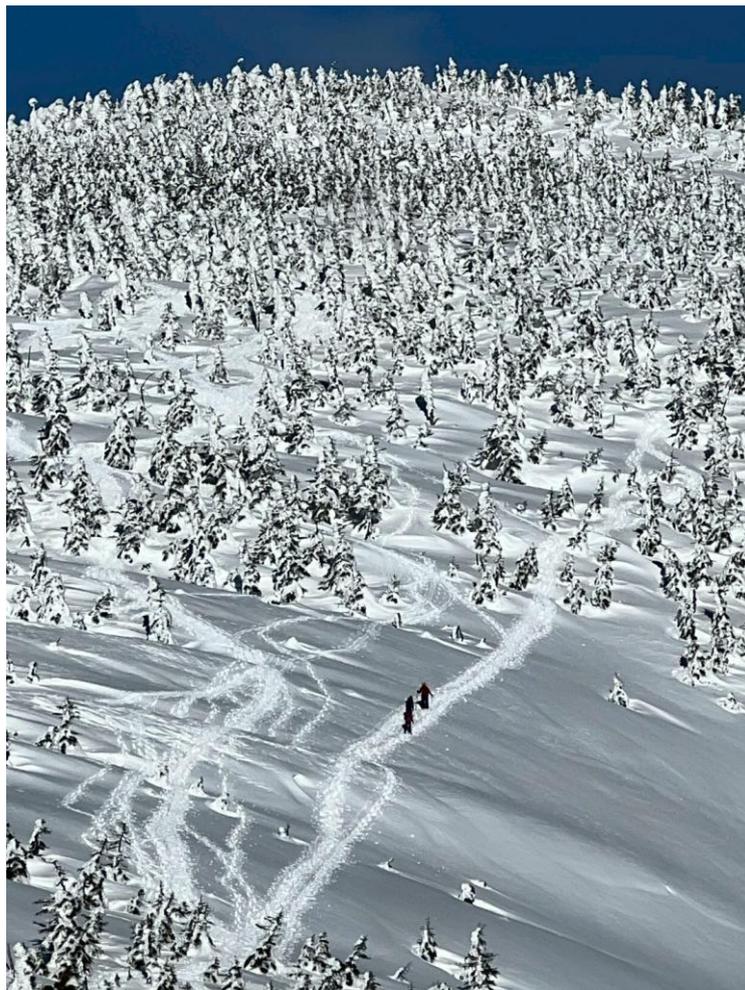
帰りはトラバースをして先を急ぎましたが、最終のロープウェイには間に合わず、ゲレンデを徒歩で下る事になりました。今迄スキーで数分、数十分の時間で滑り降りていたゲレンデをスノーシューを履いて1時間程かけて徒歩で下りました。駐車場到着は17時でした。

リフトが止まっていた事もあり、人もまばらな夕方のゲレンデをスノーシューを履いて徒歩で降りてゆくのは不思議な体験でした。真っ白な静寂の中、自分が踏みしめる雪音だけが聞こえて、まるで地球に人がここにいる数人しかいないような錯覚に陥ったりして。時間がゆったり流れていました。とても美しい体験でした。

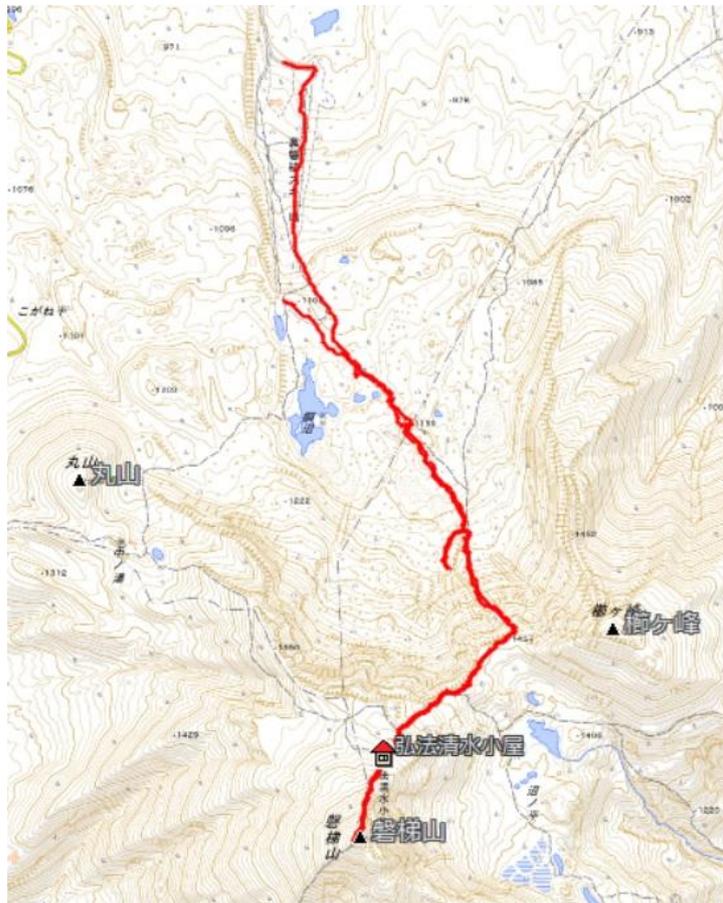
素晴らしい企画をしてくださったリーダーはじめ、指導して下さった会員の方々、同行して下さった皆さん、本当にありがとうございました。



磐梯山と猪苗代湖をバックに、スノーモンスターの雪だるまと一緒に。



スノーモンスターの樹林帯を抜けて雪原を歩く



昨日と同様、春の陽気を感じさせる登山日となった。

10時前に駐車場に到着するも第一駐車場は満車で第二駐車場を案内される。リフト乗り場まではシャトルバスが運航してそれに乗車する。

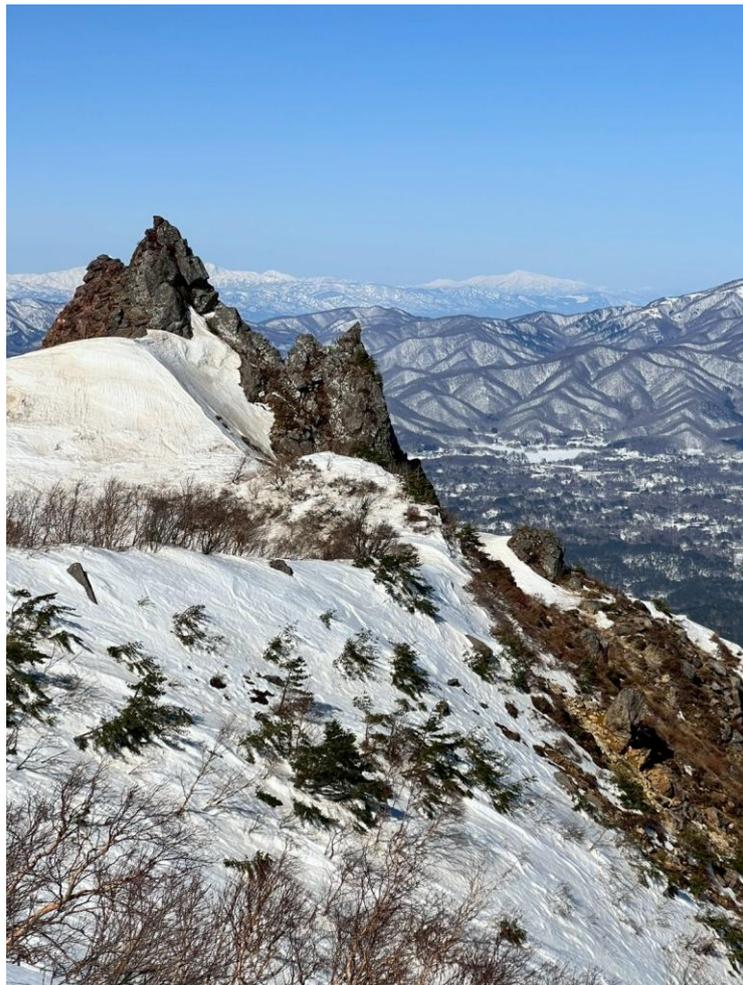
歩行時間短縮のため、リフトを2本乗り継いでリフト終点から登山を開始した。下りのリフト最終が15:45だったので山頂まで行って、最終の時間まで戻って来られるか微妙。リフト終点の標高は1100mで磐梯山標高が1816mなので700m余りの標高差です。

10:30 登山開始。進行方向には磐梯山山頂が見えている。厳冬期の登山を覚悟していたが、気温が10℃以上はあろうか冬とは思えない。皆アウターシェルを脱いで薄着で登った。ダケカンバの林の中を1時間ほど登り、後ろを振り返ると、もやがかかった檜原湖が眼下に見えた。その後ろには昨日登った西大顛、西吾妻山が綺麗に見えた。雪は気温が高い影響で湿った重い雪だった。

夏道の鉄策が所々顔を出している急な斜面の林の中を登り、13:00 に三合目天狗岩に到着。登山路左手には蘆ヶ峰が見られるがほとんど雪が付いていない。



P 1 4 9 5 の稜線に乗り、磐梯山を正面に歩く



天狗岩を正面に臨み、奥に朝日連峰、月山が見通せる

13:15 4合目の弘法清水小屋に到着。小屋前の温度計によると5℃だった。山頂は風も少しはあるだろうし、汗が冷えて寒いだろうから、頂上直下の少し窪んでいる所で昼食を取った。弘法清水からは斜度はさらに厳しくなり、通常の雪質ならピッケルも必要なところだが、雪が柔らかいため、先行者の足跡があるためストックでも登れそうだ。実際ピッケルを使って登っている登山者はあまり見られない。ただ滑った時のことを考えたら、ストックでは心もとない。ピッケルを持参しているのでピッケルを使用した。エビの尻尾の残骸が登山道に堆積しているのでザクザクという音を立てて登った。私以外のメンバーは歩くのが早く、

13:40 山頂到着。同行のメンバーは歩く私が着いた頃には写真も取り終えて、山頂からの景色を楽しんでいた。山頂の南方眼下には大きな猪苗代湖が綺麗に見えた。東方には明日登る予定の安達太良山が見えた。北東方面には雄大な雪の飯豊連峰が見渡せた。北方には桧原湖と、先日登った西大巔と西吾妻山が綺麗に見えた。山頂は微風、雲もほとんど見られない青空。気持ちいい。磐梯明神に登頂のお礼と、下山の無事を祈って14:00 下山開始。

急斜面を慎重に下り、その後緩斜面、再び急斜面を下っている時にアイゼンが何回か外れた。Kさんがアイゼンを脱いで歩いて見たらと言われたが、とてもこの急斜面ではアイゼン無しで歩けた状態でなく難儀していると、Kさんが自分のアイゼンを外して、私の靴に装着して下さった。おかげ様で難なく下ることが出来た。一方アイゼンなしのKさんかというと、普通に下山されている様子。さすが雪慣れたベテランの歩き方に感心した。下山途中、櫛ヶ峰から岩が崩落しているカラ、カラという崩落音が聞こえ、落石も確認できた。夏道への分岐を左に取りイエローフォールを見学に行った。大勢の登山者が行き来しているようで足跡が多数あった。夏には滝はなく、冬に崖からしみだした硫黄を含んだ水が氷結して氷の滝となるので幻の氷瀑と言われているそうだ。見学後分岐点に戻り、ダケカンバの林を過ぎ、スキー場トップまで戻ってきた。この時16:00リフト運航終了時間の15:45を過ぎていたので、人気のないゲレンデをひたすら下った。16:45 駐車場到着した。



(左) 磐梯山頂上から飯豊連峰をバックに (右) イエローフォール、溶け気味の様子

《リーダー総括》 K.O

東北での冬山山行を企画するにあたり、初心者でも登頂しやすく、交通アクセスがそれほど不便ではない100名山を選んだ。郡山駅を起点にすれば、西吾妻山、磐梯山、安達太良山はそれぞれ1時間程度の圏内だ。

天候は1日目西吾妻山、2日目磐梯山ともに晴天。全国的な高気圧の影響で東北の山と言えないほどの穏やかな気候だった。予備日に設定した3日目、安達太良山は突風やホワイトアウトに見舞われ、無理に登頂したパーティもいたようだが、途中撤退は賢明な判断だろう。

課題として残ったのはレンタカーの取扱いだ。初日は夜行バスで郡山駅に到着してから、宿泊先ホテルに荷物をデポさせていただき、着替えてからタイムズカーシェアを借りて登山口への移動。2日目は有人レンタカー会社を借りての移動のため、8時スタートとなった。スキー場でのリフトトップからの移動開始というメリットは活かされたものの、両日ともにスタート時間が10時台と通常の登山では有り得ない開始時刻となってしまった。行動時間はそれぞれ5時間程度の山域ではあるものの、開始時間のあり方は再検証するべきだろう。復路は1日目、2日目ともにロープウェイ営業時間が終了し、徒歩下山となった。

Kさんは現地合流、現地解散。総勢6名の賑やかな冬山山行となった。チェックアウト前、またチェックアウト後に荷物を置かせていただいたホテルT様には感謝したい。